

童

2019年7月19日。

とうとうひまわりロードのひまわり達が、大人の背丈を超えました。通る車を覆い隠す程です。人間に例えれば、思春期の成長期といったところでしょうか。これほど短期間に成長過程を実感できることは、ひまわりの大きな成長エネルギーのお陰でしょう。そして、熱い夏の到来を告げるものです。

「練習は嘘をつかない」はスポーツ界の定番ですが、同じように「心と手間をかけることは嘘をつかない」は、まさに先日流しそめんに先駆けて掘ったジャガイモです。まだ収穫には早かったのですが、どうしてもあのほくほくの新しいじゃがを食べたいので、フライング気味で4株だけ掘りました。見事なジャガイモがどんどん出てきました。今年は、丁寧に皆で植え付けして、何度も何度も今年の5倍以上は、せつせと土寄せをしました。こちらも不耕起自然農法です。今年の自然栽培の収穫第1弾は見事なデビューのジャガイモさんでした。夏休み明けにジャガイモ掘りを行うので、後続に期待です。

他の野菜達も、本当に連日お世話されて、そして連日の夜降って昼間晴れるというお天気のお陰で、順調に伸びています。楽しみですですが、毎年その最盛期が、夏休みに重なってしまい、何とか休み明けまで持たせようと努力していますが・・・今年も、子供たちの口に入るようがんばってみます。

田んぼの生育も順調です。チェーン除草のお陰で草はほとんど出ていませんし、田植え後の生育は、他の田んぼに比べゆっくりなスタートで気をもみましたが、さすが底力を発揮してくれ、ようやく他と肩を並べるほど頑張ってくれています。さすが化学肥料に頼らなくても、自然のエネルギーは凄いです。(化学肥料は、促成栽培、大量栽培の味方ですから)

この1学期は、例年に比べ本場に頻繁に畑や田んぼに通いました。また、幼稚園のスタッフが、これほど畑の世話をし、自然栽培に精通していることも誇りです。子供たちを化学肥料で育てるのではなく、大地の自然肥料で育てることと共通です。自然エネルギーで育つ野菜達と子供たち、素晴らしい夏休みをお過ごし下さい。夏休み明けの収穫を楽しみにしております。



【前倒し】

今年も猛暑でしょうか。小さい頃、気温25度なんていけば地獄のような灼熱地獄の世界でしたが、今は38度、40度と聞くことも珍しくなくなりました。誰もが、温暖化を確実に認識している時代です。

先日の新聞に、都会の小学校では16日(実際には13日)から夏休みが始まる所が多くなってきたとありました。一週間前倒しで、開始は8月25日頃です。小さい頃、長野はお盆明けには(18日頃)2学期が始まり、都会は8月いっぱい休みであり、その不公平さを羨ましくそして嘆いた記憶があります。だから、お盆休みは、宿題や自由研究で憂鬱な時をすごした覚えがあります。最近の暑さでは、この前倒しは当然だと思いますが、子供たちを取り巻く複雑で多忙な教育環境が更に厳しくなっていくのは変わりありません。

海水浴や海遊びは然りです。大地の三月末の春のキャンプでは、直江津の海岸で野宿をして海遊びを楽しみます。5月連休には、本格的に流木を焚きながらの野宿海遊び。6月は、絶好の海水浴日和。そして、幼稚園の海水浴で、ほぼ海遊びは終了!! 世に言う海開きは、大地にとっては海じまいです。気温30度を軽く超え、じりじりした砂の上を素足では歩けなく、海の中に入るしかできなく、砂浜で砂遊びに興じる事もできなく、ましてや流木の焚き火も楽しめず蒸し風呂となるテント泊もぞっとしますし、暑さを耐える海水浴というイメージになってきています。それを考えると、海水浴シーズンは、まさに5月6月、つまり夏休みの前倒しと同じです。人がいなくて静かな海。波も穏やか。適度な涼しさで、流木焚き火は心地よく、焚き火のお陰で海に入って少々寒くても、焚き火の温かさを満喫できます。大地の考える海開きは、まさに4月5月、流木焚き火調理 潮騒野宿キャンプ 誰もいない海辺 日の出からの海遊び・・・これが大地の海水浴です。

そして、夏休みは海ではなく、涼しい快適な山 高度のある車では行けない(静か、周囲に気兼ねせず、自然を独り占め)登山やスポットを探し求めて楽しむのが定番です。そうすると、標高1200m以上 車入らず 徒歩 人の活動しない時間帯 などをキーワードに出没する羽目になります。日中は暑くなるので、早寝早起き、朝の涼しい4時頃から活動開始、そして熱くなる9時頃までに思い切り楽しんで終了。これも、最高の前倒しです。

8ミリフィルムにあったように、40年前にオーストラリアを旅した自分。これが人生の考え方を根本から変えて旅。学校卒業就職を決めて出かけた旅。連日キャンプで、現地の若者達と話して過ごした夜。彼らの人生に多くの影響を受けました。20代の若者、青ちゃんより10歳前後上の人達。今でいえば、ギャップイヤーを楽しんでいたのでしょうか。学校を卒業してから一度職業について、再び学生に戻り、本当に好きなことを勉強している人達、20代後半の学生達が熱い話をしていたり、自分のライフワークを語っていたり。そんな日々の中で、自分のライフワークや本当にやりたい事を再考させられる毎日でした。世にいう卒業旅行。もう就職したらこんな長い休みがとれないからとか、大好きな仲間達と気兼ねなく旅行できないからとか、まさに人生最後のきままな旅行といった感じで、青ちゃんも、その当時、大好きなバイクで出かけたような気がします。しかし、結局これがライフワークを見つけ、ライフワークを楽しむ人生の旅行の始まりになったのですが。

18歳から22歳位で就職して、40年働き 還暦で退職する というのが世の中の定番です。自営業などはずっと働きますが、大体スタートは、20歳前後はほとんど変わりありませんね。学業を終えるのが20歳前後。逆に勉強するのが、20歳前後まで、それから働くというのが定番。自由気ままにライフワークを送るのが、還暦を過ぎてから?

高校に入ったときの感激は今でも忘れません。受験勉強から解放され、都会(長野市)の垢抜けた環境に出会い、友人達と楽しみ、田舎では知らなかった世界を知り、それは、大学1年も一緒ですが、でも、今は、高校生になったら、すぐに大学進学に備えての受験を提示され、大学に入ったら就活やインターンシップなどを提示されている現実。自分のライフワークや旅を味わう余裕がないような気がします。

小さい頃の思い出を浮かべてみると、小学生時代友だちと山で今でいうツリーハウスを作ったり、中学生時代は、密かに友だちと憧れの長野市へ繰り出したり、夜中にお祭りなどで遊んだり、高校ではバイクで佐渡島へ行ったり旅したりして過ごしたことが忘れられない思い出です。それらがほとんどで、勉強したことはほとんど思い出にありません。

今でこそ前倒し。20歳で働き始め、60歳で退職するのではなく、30歳で働き始め、70歳で退職。これって、前倒しではなく、後倒しでしょうか!! 寿命も延びて元気な人達が多い世の中(精神的には病んでいます)

20代は、ライフワークを見つける旅、ギャップイヤー 本当に好きな事を見つける 見つめる時期、そのための学びの時代。一番心身共にエネルギーが大きく大人の感性が備わってくる時期。現代の教育システムを変えることはまだまだ時間はかかると思いますが、20歳前後で学業終了働き開始ではなく、20歳前後ライフワーク探求開始、旅開始、30歳前後働き開始 これなら簡単にできそうです。人生の一般パターンを変える!!

そう言えば、青ちゃんは野外教室大地31歳開始 幼児教室34歳開始、只今61歳 70歳まで現役で証明しよう。何となく、4人の子供たちもそんな気配を感じさせる20代を過ごしている。20代ライフワークの旅スタート。